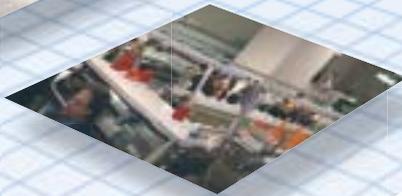
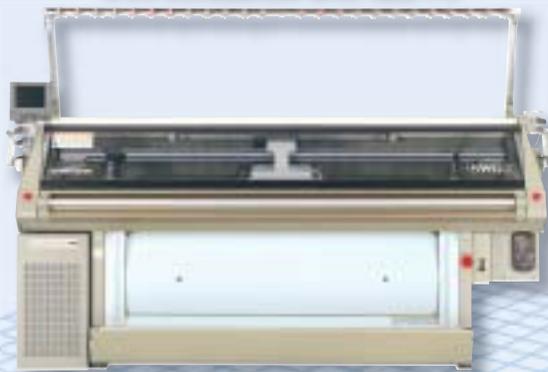


WHOLEGARMENT®



アニュアルレポート

2004

REVOLUTIONIZING THE KNIT INDUSTRY



グローバル・ネットワーク

- 現地法人、支店
- 代理店



Ever Onward

シマセイキのスピリット — “Ever Onward”

和歌山市という日本の西部の一地方都市に拠点を置く島精機製作所は、1961年に設立され、現在、コンピュータ横編機では60%超、手袋編機では80%超の世界シェアを誇る編機のトップメーカーへと躍進しました。

手袋編機の自動化という難課題の克服を原点に、シマセイキは「Ever Onward 限りなき前進」の経営理念のもと、消費者ニーズの多様化・個性化が進むなかで、常に顧客の視点に立ち戻って「魅力あるモノづくり」に挑戦し続け、先進のハードウェアと優れたソフトウェアを融合した、総合メカトロニクス企業へと成長を遂げました。シマセイキは、全世界のアパレル・ファッション業界をリードする革新的な製品の創出によって、業界全体の活性化と、新しい「衣の文化」の形成に大きく貢献しています。

私たちの“限りなき前進”というスピリットはファッション業界だけに留まらず、世界オンリー・ワンの技術力と豊かな創造力を駆使し、工業デザインから放送、印刷、建築など様々なフィールドでも活躍する基盤となっています。



編機・デザインシステム用部品、エラストカ(糸)、修理、保守、ホテル業

目次

社長メッセージ	
ホールガメント®	1
株主の皆さまへ	4
中期経営計画	6
事業活動の概況	8
取締役及び監査役	10
連結財務諸表	11
会社概況	15

将来予測記述に関する特記:

このアナニュアルレポートの記載内容のうち、将来の業績に関する計画・予測・戦略などは、経営者が現在入手しうる情報に基づいたものであり、未知のリスクや不確実な要素を含んでいます。

WHOLEGARMENT®

新しい「モノづくり」のビジネスモデルを提案し
世界をリードする

ニット革命ともいわれた無縫製型コンピュータ横編機「ホールガーメント®」は、身頃や袖を全く縫い合わせることなく、一度にニットを編み上げることができる、ファッション業界の画期的な3次元テクノロジーです。

無縫製により、原料ロスや人件費が削減できるだけでなく、自然なフィット感・軽量感が生まれ、美しい仕上がりが可能になることから、着心地が良くデザイン性の高い製品をローコストで生産できる

この「ホールガーメント®」のメリットは、メーカーのみならずユーザーにも深く浸透し、欧州、北米、日本などの先進国の消費地を中心に普及台数を飛躍的に伸ばしています。

ホールガーメント®の浸透は、多品種少量生産や、クイックレスポンスを実現する「知識集約型産業」への転換を促し、今までにない「モノづくり」のビジネスモデルを世界に提案し続けています。

私たちシマセイキは、この独自技術の開発と自己革新の推進に全力投球することで、さらなる業績の躍進を目指し、企業価値の向上に努めてまいります。

株主・投資家の皆様には、なにとぞ一層のご支援、ご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 島 正博

島 正博



ニット業界を革新するホールガーメント®

— 独自のノウハウにより、ニットの可能性を拡大します

継ぎ目が一切ないホールガーメント®には、従来にはない優れた点がいくつもあります。第一に生産面でのメリットです。縫製に要していた時間が省けるばかりか、パーツの裁断の際に発生していたカットロスも大幅に削減されます。第二に、消費者にとってメリットがあります。これまでどの衣料品にもなかった自然なフィット感と着心地、軽量感を実現します。最後に、アパレル業界全体へのメリットです。ローコストで付加価値の高いデザインを実現することにより、安価な輸入品に対抗できます。また、多品種少量生産やクイックレスポンスという時代の要請にも対応します。

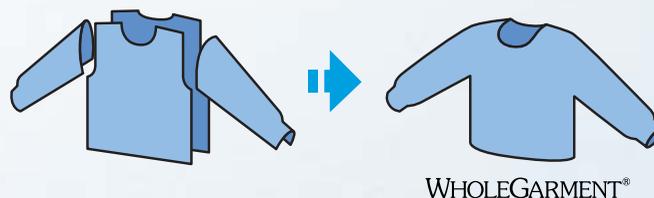
ホールガーメント®の特徴

- ソフトで軽い
- 個人に合わせたサイズとスタイル
- 糸ロスの削減
- 伸縮性が高い
- 生産工程の大幅な短縮
- 省資源
- きれいなシルエット
- 消費地でのモノづくり
- 環境にやさしい



ホールガーメント®とカットソーの違い

セーターなどのニット衣類は従来、身頃や袖などの平らなパーツを編んだあと、細かな縫製作業で縫い合わせていました。一方、シマセイキの革命的なホールガーメント®編成では、一着丸ごと機械上で立体的に編んでしまうことが可能となりました。



最新情報を発信するトータルデザインセンター

— ニーズを先取りし、モノづくりの新しいあり方を提案しています

毎週60点にも上るオリジナルのニットサンプルの開発から、ITを駆使した新しいモノづくりのあり方まで、多様な情報をリアルタイムに発信しているのがトータルデザインセンターです。

先進のデザインシステムにより、ホールガーメント®のポテンシャルを存分に引き出したサンプルを提供しています。横編機やデザインシステムを使いこなすためのユーザー研修や、メーカーやアパレルに対するプレゼンテーション、販売促進の場としての機能も果たしています。

近年は、最新ホールガーメント®のファッションショーを企画・運営するなど、当社の高付加価値戦略の拠点として、重要性が一層高まっています。



オリジナルサンプルの企画



ホールガーメント®のサンプル作成



ユーザー研修

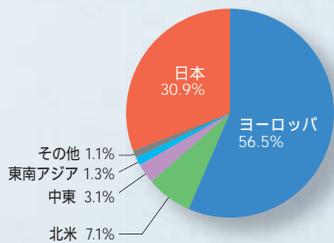
世界が認めたシマセイキのブランド

— ホールガーメント®横編機の受注は前期比37.5%の伸びを達成しました

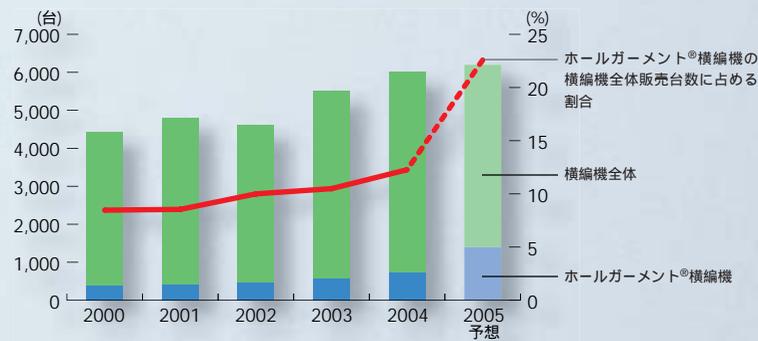
当社は、1980年代にCGシステム開発で、世界的評価を得ました。その後も、成型編み、インテグラルニット、CAD/CAMを一体化した「トータル・ニット・システム」が世界のアパレル、ニットメーカーから注目を集めました。

今日では、世界市場におけるシェアの高さと、ホールガーメント®に象徴される革新的な技術力で、世界のファッション業界で強い存在感を獲得しています。

ホールガーメント®横編機地域別売上高



ホールガーメント®横編機の横編機全体販売台数に占める割合



さらに進化し続ける無縫製技術

— ホールガーメント®の可能性はニットウェア以外へも向けられています

ホールガーメント®のポテンシャルは非常に高く、まだその1割も活用できていないのが現状です。今後は、プリント柄を作るシステムなどホールガーメント®の可能性を引き出す周辺機器の充実を図るとともに、デザインシステムと連動した関連ソフトウェアのバージョンアップや、ファッション業界に対する責務としてホールガーメント®クリエイターの養成にも注力します。

また、トータルデザインセンターに寄せられるユーザー企業や消費者の声に耳を傾け、横編機の従来機や手袋編機の改良にも引き続き取り組んでいきます。



ホールガーメント®を核とする総合力で増収増益を実現

営業利益、当期純利益ともに過去最高を記録

海外市場では、海外売上の過半を占める東南アジアで、香港、中国が輸出、内需とも好調で設備投資意欲が活発となり、中東でもトルコが上期を中心にコンピュータ横編機の従来機種種の需要が旺盛で、いずれも前期に比べ順調に売上を伸ばしました。欧州市場での減少はあったものの、海外売上高は前期比3.3%の増加となりました。

国内市場でも、付加価値の高いホールガーメント®の評価が高まり、国内生産への投資が着実に進んだ結果、国内売上高は前期比30.2%の増加となり、回復基調を鮮明にしました。

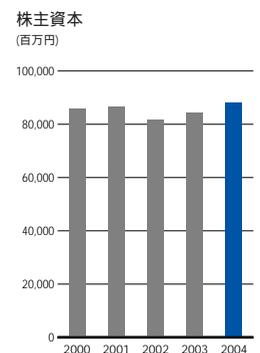
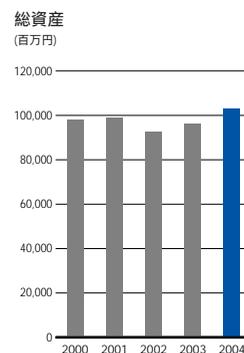
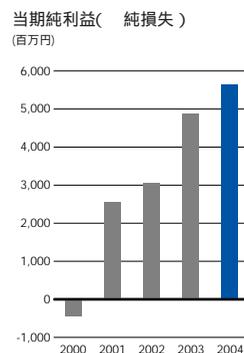
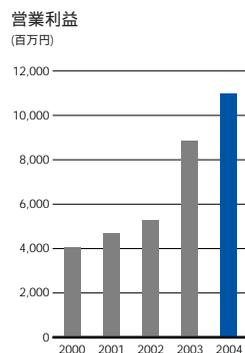
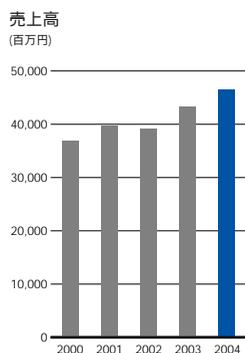
その結果、当連結会計年度の売上高は、464億20百万円(前期比7.2%増)となりました。利益面では、売上高の増加に加え、増産に伴う稼働率の向上やコストダウンが進んだことにより、営業利益、当期純利益ともに過去最高の、それぞれ109億72百万円(前期比24.0%増)と56億23百万円(前期比15.3%増)となりました。

連結財務データ

株式会社島精機製作所及び連結子会社

3月31日に終了した各会計年度	百万円			千米ドル	千ユーロ
	2004	2003	2002	2004	2004
各年度:					
売上高	46,420	43,288	39,097	439,417	360,432
営業利益	10,972	8,847	5,282	103,862	85,193
税金等調整前当期純利益	9,520	8,800	5,212	90,117	73,919
当期純利益	5,623	4,878	3,061	53,237	43,668
各年度末:					
総資産	102,852	96,220	92,549	973,618	798,610
株主資本	87,903	84,419	81,735	832,100	682,530
1株当たり情報:					
	円			米ドル	ユーロ
当期純利益	150.64	129.61	81.61	1.43	1.17
配当金	37.50	35.00	30.00	0.35	0.29
株主資本	2,391.63	2,280.85	2,190.16	22.64	18.57

(注) 読者の便宜のため、円建て金額を2004年3月31日現在の東京外国為替相場1米ドル=105.64円で米ドルに、また、1ユーロ=128.79円でユーロに各々換算しています。



ホールガーメント®のメリットが国内外で浸透

横編機の販売台数が6,000台と過去最高を2年続けて更新しました。トルコ、香港、中国といった大規模市場での従来機の堅調な動きに加え、ホールガーメント®横編機が活発に推移しました。横編機全体のうちホールガーメント®横編機は736台(海外398台、国内が338台)で、これまで海外市場への販売が先行していましたが、国内市場でも本格的な普及を実感するようになりました。安価な輸入製品に押され続けていた日本市場が、ホールガーメント®の導入によってモノづくりの国内回帰を果たしつつあります。イタリアを中心としたヨーロッパでも、昨年のIKME展以降、一段と普及が進んできています。こうした動きにより、ホールガーメント®はアパレル、縫製業界だけでなく、エンドユーザーにまで認知されるようになりました。

カットロスがないだけでなく、魅力あるファッションの創造が可能であるというホールガーメント®の優秀性はかなり浸透したと感じています。今後は、普及をさらに加速するために、ハードウェア、ソフトウェアが一体となった開発、当社独自のノウハウの蓄積及び提供、ホールガーメント®クリエイターの育成などに取り組んでいきます。

高機能手袋編機など新分野にも積極的に進出を図る

当社は今後も、消費地でのホールガーメント®横編機の浸透・拡販ならびに、大規模市場における横編機の従来機種種のシェアアップに経営資源を集中していきます。また、世界初の超ファインゲージ手袋編機「NewSFG18ゲージ」の多用展開など、高いニーズが見込める新しい分野への進出も積極的に進めます。

ハードウェア、ソフトウェア、デザイン提案まで一気通貫で提供する当社の総合力を活かし、一層の業容の拡大に努めていきます。

コーポレート・ガバナンスの一層の適正化を図る

当社は経営意思決定の迅速化と効率的な業務執行を実現するため、取締役会制度、監査役制度などの機能を十分に発揮させることで、適正かつ効果的なコーポレート・ガバナンスが実施できる体制を構築しています。同時にコーポレート・ガバナンスを株主をはじめとしたステークホルダーの利益を重視した経営を行うために重要な要件であると位置付けています。このため、目標とする経営指標として1株当たりの当期純利益を採用しております。当期は増収に加えてコストダウンが進んだため、目標の150円を上回る150.64円を達成できました。今後も継続的に株主への利益還元を行うため、当面の目標を一段高い200円に設定しております

私たちの限りなき前進(“ Ever Onward ”)のスピリットとは、先進のハードウェアと優れたソフトウェアを融合し、デザイン提案とそのノウハウの蓄積を活かした総合メカトロニクス企業へと成長していくことです。



中期経営計画

～ソフトウェアやサポート体制を強化し、ホールガーメント®の拡販を加速～

海外売上比率が80%を超える当社は、次の6項目を柱に中長期的な経営戦略を展開しています

魅力あるモノづくりを支援し、ユーザー業界全体の活性化に貢献

当社は創業以来、最高機能の製品を経済的な価格で提供することを通じて、ニット、アパレル業界全体の活性化に貢献することを、第一のミッションと考えております。これは、グローバル企業へと成長した現在も変わることはありません。ミッションを果たすために、ホールガーメント®に代表される当社の高い技術力とソリューション力によって、魅力あるモノづくりを支援していきます。

現在、高付加価値化のニーズが高いのは消費地である先進国であり、こうした国々に向けて製品の拡販と企画提案活動を強化していきます。

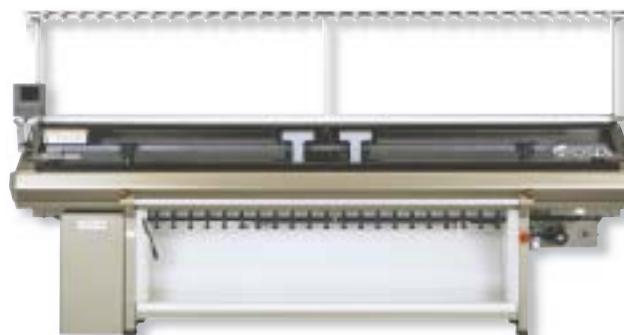


コンピュータ横編機業界でのシェアアップ

業界トップとして一層のシェアアップを図るため、全世界に向けて、商品群、販売地域に応じた商品開発、販売体制、ユーザーサポート体制の強化を図ります。先進国向けには、ホールガーメント®横編機による消費地型生産体制の構築を支援します。また、従来機種種の販売がメインとなるアジア、中東市場向けには、ニットの生産性向上や魅力的な商品生産のノウハウの提案により、新たな市場の開拓及びシェアアップに取り組んでいきます。

ホールガーメント®横編機は、付加価値の高さや優れたファッション性、クイックレスポンスなどが確実に認知・支持されてきています。今後もデザインシステム「SDS® - ONE」や、プリントシステムといった周辺機器の増強にも努め、デザイン情報も合わせて提供することで、競合他社との差別化を進め、一層の拡販に努めます。

さらに、ホールガーメント®技術を応用し、手袋や靴下をはじめ、服飾アクセサリ全般の商品カテゴリーに対応する新開発の「SWG021」により、新たな市場ニーズの創造を目指していきます。



ニット・アパレル関連業界へのデザインシステムの積極的な提案

長年培ってきたコンピュータグラフィックスのハードウェア、ソフトウェアの技術を基盤に、当社はデザインシステムをユーザー業界の収益に貢献するビジュアルコミュニケーションツールとして提供しています。こうしたデザインシステムは、弛みない研究開発活動やユーザーからのフィードバックを通じて、継続的に機能性や操作性の改良を進めています。

今後も、ハードウェアとソフトウェアの開発を一貫して行う強みを活かし、マーケットイン、多品種少量生産などに対応したビジネスソリューションとして、また、高機能でコストパフォーマンスに優れたデザインツールとして、積極的に販売増強に努めます。



手袋靴下編機のマーケット拡大

当社の手袋編機は、世界市場において80%以上のシェアを有しています。アジア地域での自国消費向け需要の増大や欧米向け商品の好調、五本指靴下編機の需要増といったプラス要因がある一方、業界全体としては設備投資の波が現れやすい事業環境となっています。

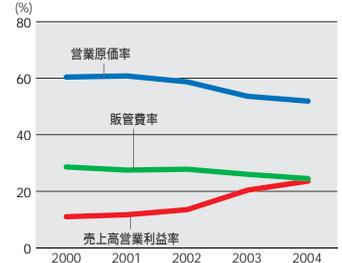
今後、当社では機能の充実、強化を図るとともに、一般作業用 / 防寒用といった従来分野だけでなく、ファインゲージ化による精密作業用や医療用への対応、コーティングなどの生産商品の高機能化など、新たな付加価値を備えた手袋 / 靴下を生産するためのノウハウを提案していきます。



高収益体質の構築

引き続き利益率向上のため、開発設計段階からの抜本的見直しを行い、製造コストの低減を進めるとともに、製品の高付加価値化による収益率の向上に努めます。さらに、グループ会社全体にわたる生産効率の改善、間接業務の効率化を推進し、コスト競争力を高め、高収益体質の強化を図ります。

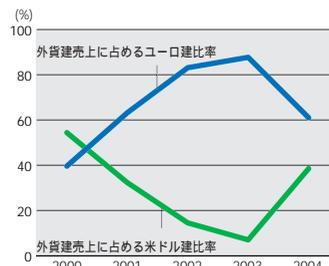
売上高営業利益率等の推移



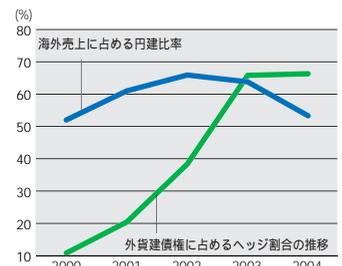
リスク管理の強化

為替リスクについては、円建取引比率の維持向上を図るとともに、売上債権の流動化や為替予約などによるリスクヘッジを積極的に進め、為替変動の影響を軽減できるよう努めています。与信リスクについては、発展途上国における販売のリスク分散に努めるとともに、海外の代理店の業績動向や、国・地域の業界動向、ユーザーの信用状態の掌握に努めることで、迅速な対応を目指しています。

外貨建売上に占めるユーロ建及び米ドル建比率の推移



海外売上に占める円建比率及び外貨建債権に占めるヘッジ割合の推移



事業活動の概況

横編機事業の業績は堅調、手袋靴下編機事業は大幅な売上増

横編機事業

当社のコア・ビジネスである横編機事業では、ホールガーメント®特有のメリットを前面に押し出す一方、多様な企画提案を行うことで、高付加価値化に努めています。当期も、新しい魅力のあるサンプルの蓄積や、デザイン、データまでをトータルにサポートすることで、生産者側のサプライチェーンマネジメント構築に貢献し、市場への浸透力を強化しました。

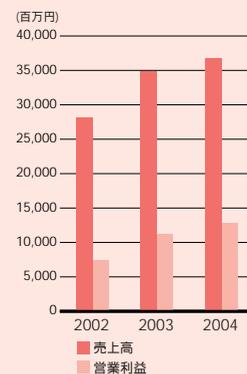
その結果、ホールガーメント®は売れ筋商品という評価が完全に定着し、大手アパレルを中心に主力ブランドへの拡大が進みました。また、縫製など異業種でも採用されるといった新たな展開の兆しも見受けられました。

市場別では、海外市場においては、横編機の海外売上高全体の50%以上を占めるアジア市場では、香港が対欧米への生産拠点として設備投資が活発なことに加え、中国でも輸出とともに内需が拡大し、前期に引き続き売上を伸ばしました。中東のトルコでも、従来機種を中心に売上は高水準で推移しました。欧州市場では前半は、輸入品の増加や生産拠点の移転などにより需要が減速しました。しかし、2003年10月にイタリア・ミラノで開催された国際ニット機械見本市(IKME展)で、ホールガーメント®が来場者の注目を集め成果を上げたことで、後半はイタリアを中心に回復基調となりました。

国内市場では、国内生産への回帰を進め、業界の活性化を図ることにより、アパレル、商社、ニットメーカー、紡績などとの協業体制が実現しました。各産地においてもホールガーメント®による独自のモノづくりが浸透し、百貨店やブティック、専門店などから最終消費者への認知度も高まった結果、ホールガーメント®横編機の販売台数が前期比で倍増し、国内売上高は前期に比べ大きく増加しました。

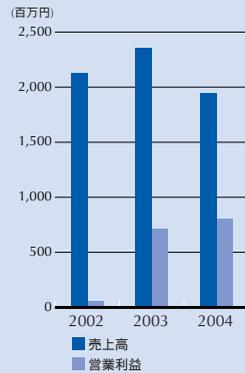
横編機事業全体では、過去最高の販売台数を記録した前期をさらに上回り、売上高は367億80百万円(前期比5.5%増)、営業利益は128億12百万円(同14.1%増)となりました。

売上高 / 営業利益



デザインシステム関連事業

売上高 / 営業利益



デザインシステム関連事業の中核製品である「SDS® - ONE」は、アパレル、ニットメーカーのデザイン及びコミュニケーションツールであり、ファッションの企画デザインを生産、流通、販売へと確実かつスピーディーに伝達することで、アパレルのサプライチェーンの効率化を実現します。今や業界標準となった当社のニットペイントと自動制御ソフトウェア、型紙作成を容易にするPGMソフト、テキスタイルソフトなどを“ All in One ”で標準装備し、ユーザビリティにも優れています。

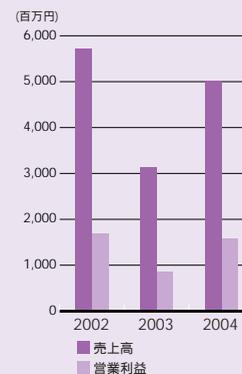
当期も販売促進に注力した結果、国内市場ではほぼ前期並みの売上水準を達成することができました。しかしながら、海外市場ではやや伸び悩み、デザインシステム関連事業全体では、売上高は19億49百万円(前期比17.4%減)、営業利益は8億9百万円(同13.8%増)となりました。



手袋靴下編機事業

手袋靴下編機事業では、韓国、中国などのアジア市場で欧米向け需要が順調な推移となり、中東のトルコでも五本指靴下編機の設備投資が増加したことにより、海外市場の売上が大幅な増加となり、国内市場でもコーティング手袋需要の増加などにより売上が伸び、売上高は50億27百万円(前期比60.4%増)、営業利益は15億86百万円(同82.5%増)となりました。

売上高 / 営業利益



その他事業

部品を中心とするその他事業の売上高は26億63百万円(前期比8.8%減)、営業利益は4億1百万円(同16.6%増)となりました。

取締役及び監査役



(後列左より) 梅田 郁人、藤田 紀、森田 敏明、島 三博、後藤 明史、和田 隆、片桐 正二郎
(前列左より) 京谷 実、島 正博、田中 雅夫、岩倉 煌一

代表取締役社長

島 正博

常務取締役

田中 雅夫

経理部長

取締役

岩倉 煌一

経営管理部長

京谷 実

生産技術部長

森田 敏明

資材部長

和田 隆

製造技術部長

後藤 明史

営業部長 兼 トータルデザインセンター部長

島 三博

グラフィックシステム開発部長

片桐 正二郎

企画部長

梅田 郁人

輸出部長

藤田 紀

総務部長

常勤監査役

大川 修

沖殿 俊幸

監査役

的場 悠紀

2004年6月29日現在

比較連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当期 (平成16年3月31日現在)	前期 (平成15年3月31日現在)	比較増減 (は減少)
(資産の部)			
流動資産			
現金及び預金	8,192	10,173	1,981
受取手形及び売掛金	51,562	42,705	8,856
有価証券	199	199	0
たな卸資産	10,323	10,411	87
繰延税金資産	1,260	752	508
その他	1,058	871	187
貸倒引当金	1,644	1,174	469
流動資産合計	70,953	63,939	7,013
固定資産			
有形固定資産			
建物及び構築物	6,067	6,414	347
機械装置及び運搬具	939	985	45
工具器具備品	1,045	1,070	25
土地	10,388	10,264	124
建設仮勘定	29	32	2
有形固定資産合計	18,470	18,767	296
無形固定資産	125	132	6
投資その他の資産			
投資有価証券	4,752	4,446	305
長期貸付金	304	328	24
繰延税金資産	860	746	114
再評価に係る繰延税金資産	4,518	4,530	11
その他	3,765	4,389	623
貸倒引当金	898	1,060	161
投資その他の資産合計	13,302	13,380	78
固定資産合計	31,898	32,280	381
資産合計	102,852	96,220	6,632

数値につきましては監査法人の監査を受けておりません。

(単位：百万円)

	当期 (平成16年3月31日現在)	前期 (平成15年3月31日現在)	比較増減 (は減少)
(負債の部)			
流動負債			
支払手形及び買掛金	4,763	4,521	241
短期借入金	1,720	20	1,700
未払法人税等	2,955	2,411	544
賞与引当金	710	671	38
その他	2,227	2,455	228
流動負債合計	12,376	10,080	2,295
固定負債			
退職給付引当金	1,497	1,542	44
役員退職慰労引当金	921		921
その他	1		1
固定負債合計	2,420	1,542	878
負債合計	14,797	11,622	3,174
(少数株主持分)			
少数株主持分	152	178	25
(資本の部)			
資本金	14,859	14,859	
資本剰余金	21,724	21,724	
利益剰余金	60,408	56,241	4,167
土地再評価差額金	6,657	6,675	17
その他有価証券評価差額金	240	164	405
為替換算調整勘定	235	85	150
自己株式	2,436	1,481	955
資本合計	87,903	84,419	3,483
負債、少数株主持分及び資本合計	102,852	96,220	6,632

数値につきましては監査法人の監査を受けておりません。

比較連結損益計算書

(単位：百万円)

	当期 (自平成15年4月1日 至平成16年3月31日)	前期 (自平成14年4月1日 至平成15年3月31日)	比較増減 (は減少)
売上高	46,420	43,288	3,131
売上原価	24,073	23,200	873
売上総利益	22,346	20,088	2,258
販売費及び一般管理費	11,374	11,241	133
営業利益	10,972	8,847	2,124
営業外収益	364	741	376
営業外費用	1,020	91	928
経常利益	10,316	9,496	819
特別利益	67		67
特別損失	864	695	168
税金等調整前当期純利益	9,520	8,800	719
法人税、住民税及び事業税	4,809	3,655	1,154
法人税等調整額	902	289	1,192
少数株主損失	10	22	11
当期純利益	5,623	4,878	745

数値につきましては監査法人の監査を受けておりません。

比較連結剰余金計算書

(単位：百万円)

	当期 (自平成15年4月1日 至平成16年3月31日)	前期 (自平成14年4月1日 至平成15年3月31日)
(資本剰余金の部)		
資本剰余金期首残高	21,724	21,724
資本剰余金期末残高	21,724	21,724
(利益剰余金の部)		
利益剰余金期首残高	56,241	52,513
利益剰余金増加高		
当期純利益	5,623	4,878
利益剰余金増加高合計	5,623	4,878
利益剰余金減少高		
配当金	1,387	1,119
役員賞与	52	31
土地再評価差額金取崩額	17	
利益剰余金減少高合計	1,456	1,150
利益剰余金期末残高	60,408	56,241

数値につきましては監査法人の監査を受けておりません。

比較連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当期 (自平成15年4月1日 至平成16年3月31日)	前期 (自平成14年4月1日 至平成15年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	9,520	8,800
減価償却費	1,021	1,031
貸倒引当金の増加額	322	48
役員退職慰労引当金の増加額	921	
受取利息及び受取配当金	252	240
売上債権の増加額	8,910	4,077
たな卸資産の減少額(増加額)	116	191
仕入債務の増加額	405	204
その他	333	696
小計	2,811	6,271
利息及び配当金の受取額	250	244
利息の支払額	9	37
法人税等の支払額	4,261	2,800
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,208	3,677
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純減少額(純増加額)	715	309
有価証券の純減少額(純増加額)	0	39
有形固定資産の取得による支出	1,037	767
有形固定資産の売却による収入	102	6
投資有価証券の取得による支出	200	1,570
投資有価証券の売却による収入	591	22
その他	442	119
投資活動によるキャッシュ・フロー	816	1,919
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増加額(純減少額)	1,700	10
自己株式の取得による支出	955	848
配当金の支払額	1,387	1,118
その他	3	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	639	1,977
現金及び現金同等物に係る換算差額	33	59
現金及び現金同等物の減少額	2,697	279
現金及び現金同等物の期首残高	9,966	10,246
現金及び現金同等物の期末残高	7,269	9,966

数値につきましては監査法人の監査を受けておりません。

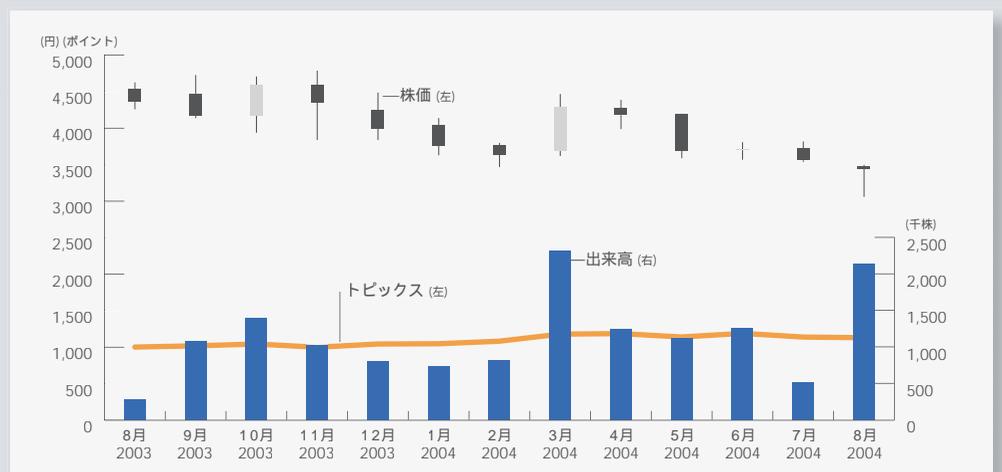
会社概要 (2004年6月29日現在)

商号	株式会社島精機製作所
本社	〒641-8511 和歌山市坂田85番地 Tel: 073-471-0511 (代) Fax: 073-474-8267
設立	1962年2月4日
資本金	148億5,980万円
従業員	1,021名
URL	http://www.shimaseiki.co.jp/
連結子会社	株式会社シマファインプレス 株式会社ニットマック ティーエスエム工業株式会社 株式会社マーキーズ 株式会社ツカダシマセイキ Shima Seiki Europe Ltd. Shima Seiki U.S.A. Inc.



投資家情報 (2004年3月31日現在)

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月下旬
会社が発行する株式の総数	142,000,000株
発行済株式の総数	37,600,000株
株主数	14,969人
上場取引所	東証1部 大証1部
監査法人	大手前監査法人





株式会社島精機製作所

和歌山市坂田85番地

TEL: (073)471-0511 (代) FAX: (073)474-8267

<http://www.shimaseiki.co.jp/>